

## 60歳以上の消費者トラブルの傾向に変化あり！

インターネットを利用するシニア世代のトラブルが増加中です。

### 暮らしの サポーターコーナー

★消費生活センター業務時間  
時間・場所  
①～⑤ 8時30分～17時  
(来所は9時～16時)  
本庁舎1階 消費生活センター  
相談専用電話 ☎ 574-2233

全国の消費生活センターに寄せられる相談のうち、契約当事者が60歳以上である相談の割合は平成23年度以降、毎年3割を超えています。

一方、その相談内容は以前と比べて大きく変化しています。金融商品の「劇場型勧誘」などの不意打ち的な勧誘に関するトラブルが減少し、自発的に取引を行う通信販売に関する相談が増加しています。アダルトサイトなどのデジタルコンテンツや、携帯電話サービスなどの情報通信関連の相談が増加しており、特に60歳代での傾向が顕著にみられます。アクティブシニア(趣味や仕事などに活動的なシニア世代)がインターネットでトラブルにあついたり、高齢になるほど問題勧誘や判断能力が不十分である

ことによるトラブルが増加しています。

#### 相談事例

●アダルトサイトを閲覧したら、「登録完了」などの画面が表示され、高額な料金を請求された。

●携帯電話とタブレット端末を契約したが、無料通話ができなくなった。

●知らない間に光回線の契約先が聞いたことのない事業者に変更されていた。

#### 消費者へのアドバイス

60歳以上の消費者はインターネットのトラブルについて、対処法などを積極的に情報収集しましょう。高齢になるほど電話勧誘販売や訪問販売のトラブルが増加します。自分だけで判断せず、すぐに相談しましょう。また、周囲の人も、生活や言動、態度などの変化に気付いたら本人に声をかけましょう。

トラブルにあつてしまったときや、高齢者がトラブルや被害にあつていることがわかったときは、伊達市消費生活センターにご相談ください。



## 地域の魅力 ふる里再発見

### 遺跡が語る中世の伊達①

第1回 凶徒、伊達政宗

応永八年(1401年)、鎌倉公方、足利満兼は、結城満朝に対し一通の手紙を出しています。これには、「奥州凶徒退治事、致忠節之条、尤以神妙也」と書かれています。奥州凶徒の退治に対して忠節を尽くした結城満朝の武勲を称賛した手紙です。

この前年、稲村公方、足利満貞は、結城満朝に対して、伊達政宗と蘆名満盛の陰謀が露見したため、これらを退治せよとの手紙も出しています。

この手紙の内容から、伊達政宗(伊達家9代当主 以下、伊達政宗 ※独眼竜政宗は17代当主)が鎌倉公方からは、「凶徒」と呼ばれ、討伐の対象となつていたことが読み取れます。では、なぜ伊達政宗が会津の蘆名満盛と共に鎌倉から「凶徒」と呼ばれ討伐の対象となつたのでしょうか？

この背景には、京都の室町幕府と鎌倉に置かれた鎌倉府の間で深刻化した対立がありました。鎌倉公方足利満兼は、奥羽の地が鎌倉府の直轄下に置かれると、自身の兄弟を笹川(現在の郡山市)と稲村(現在の須賀川市)に派遣し、奥

羽支配の強化を図ろうとします。この動きに懸念を示す、室町幕府は、大崎詮持を奥州探題に任命し、奥羽の支配にてこ入れを行います。この様にして室町幕府と鎌倉府は、互いに牽制し合い対立は深まりを見せるのでした。この時、奥羽の武士たちは、否応なく、両者の軋轢に巻き込まれていきます。この困難な状況を伊達政宗は、どうやって乗り切っていくのでしょうか。



伊達氏館跡(梁川城跡)の遠景